

ハイキング部だより

第110回記念ハイキング

平成24年10月28日(日)、29日(月)～世界遺産に指定された熊野古道を歩く

大阪駅～近畿自動車道～阪和自動車道有田I. C～(424号・311号)～
牛馬童子口～(5.9キロ歩く)～野中の一方杉～湯の峰温泉(湯の峯荘泊)～
発心門王子～(6.8キロ歩く)～熊野本宮大社～十津川温泉～谷瀬のつり橋～
五条～西名阪法隆寺I. C～近畿自動車道～大阪駅

参加者 18名

一泊で熊野古道を歩いてきました。一日目は雨に降られ雷が鳴る場面もありましたが、二日目は打って変わって絶好のハイキング日和となり「水森かおり」の気分で、皆の足取りも軽く、おしゃべりを楽しみながら約7キロ、初日は約6キロ歩きました。風呂も良く、食事も良く、カラオケも楽しんだ記念すべきハイキングとなりました。



第110回記念ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 世界遺産に指定された熊野古道を歩く ～

日時：平成24年10月28日(日)、29日(月)
10月28日(日)午前9時「大阪駅西口」集合

コース：大阪駅～近畿自動車道～阪和自動車道有田I. C～(424号・311号)～牛馬童子口～(5.9キロ歩く)～野中の一方杉～湯の峰温泉(湯の峯荘泊)～発心門王子～(6.8キロ歩く)～熊野本宮大社～十津川温泉～谷瀬のつり橋～五条～西名阪法隆寺I. C～近畿自動車道～大阪駅

費用：24,000円(バス代、高速代、宿泊代、二日目の昼食代など)
お願い：1日目の弁当を持参して下さい。気候の変化も考えられますので雨具、防寒具は各自持参して下さい

今回は、第100回記念として計画しましたが、豪雨による災害で中止した「熊野古道」です。

熊野古道は、平成16年7月7日に世界遺産に指定されました。災害の跡も完全に復旧されました。

熊野古道の一部を二日にわたって歩き、湯の峰温泉でくつろぎ、110回の足跡を振り返りたいと思います。

鬱蒼とした林道を歩く





牛馬童子のところ



牛馬童子



熊野古道



発心門王子



野中の一杉

和歌山県指定天然記念物
所在地：和歌山県田辺市中辺路町野中

本宮町から田辺市に向かう国道311号線の中辺路町野中に藤原秀衡伝説で伝えられる継桜王子があり、その境内に樹齢800~1000年と推定されている9本のスギの巨木がある。那智山に向かって遠征するように南向きだけに枝を伸ばしていることから「野中の一杉」と呼ばれていて、9本のうち、最大のものは樹高32m、幹周り7.53mと記される大スギだ。継桜王子は明治後期の神社合祀令により明治42年に近野神社に合祀され、40本ほどあった社叢の杉が伐採され始めたが、紀州が生んだ偉人、南方熊楠が合祀と伐採反対の声を上げて守り、かろうじて9本の樹を今に残すことができたのだという。そして、神社合祀令を廃止させ、日本における自然保護の先駆となったことでも知られている。



谷瀬のつり橋

熊野本宮大社

日本第一霊験所・全国熊野神社総本社・熊野権現・熊野坐神社

